



湊線沿線は収穫期を迎え大忙し 9/11

# おらが湊鐵道応援団報

## 第42号

勝田 | 阿字ヶ浦

### 応援団有志で「津軽鉄道」を訪問 80周年記念イベントに参加



8月28～29日に青森県・津軽鉄道(20.7km)で行われた「津軽鉄道開業80周年記念イベント」に、佐藤団長、吉田社長ほか応援団有志の計11名で参加してきました。

湊線も1913年(大正2年)12月25日に勝田～那珂湊間で開業して以来、3年後に開業100周年を迎えるタイミングもあり、イベントの内容・運営の点で参考にしようと訪問したものです。

現地でのイベントの内容は盛り沢山。機関区での写真撮影会や車両見学会以外にも、かつて津軽鉄道を走っていた貨物列車、混合列車、通学列車、そして夜汽車列車の復活運行などあり、青森県内だけでなく全国から駆けつけた鉄道ファンも大満足なイベントでした。

最も印象に残ったのは、東京や遠方から駆けつけた多数のボランティアの活躍です。多くのボランティアの方々と話をさせていただきましたが、その津軽鉄道への熱い思いがひしひしと感しました。また、お客様への対応等々、今後の湊線でのイベント開催に大変参考となりました。今後も全国で奮闘する皆様と情報交換・交流しながら、湊線の発展に向けた取り組みをしていきたいと思ひます。(おらが湊鐵道応援団 船越知弘)



▲有名なストーブ列車で夜汽車の旅。右上がストーブの煙突。車内はレトロな木製地元テレビ局の取材でひたちなか海浜鉄道を熱くPRする応援団員・舛井君



全国から鉄道ファンが

### 乗合タクシー ご利用ください



11月30日まで乗合タクシー(コミュニティタクシー)の実証運行が、那珂湊駅前発着で湊線の時刻に合わせて、昼間1日13本運行されています。コースは那珂湊駅一遊座医院前-おさかな市場-海門町ふれあい公園-栄町T字路-反射炉下-ピアポート(平日のみ)-那珂湊駅の十数分。料金は1回100円(未就学児は無料)です。

### MMM アートの街づくりへ軌跡残す 「来年は大きな作品に挑戦したい」

約1か月間にわたり湊線や湊地区商店街・阿字ヶ浦海岸などを舞台にしたアートイベント「みなとメディアミュージアム」が、街に夏の思い出を残して終了しました。

期間中は若い芸術家の卵たちや慶応大スタッフと地元の人たちとの交流も生まれ、街はちょっとしたアート気分。

最終日の9月5日夕には、那珂湊駅ホームでスタッフや応援団関係者らでトークショーが開かれ、アーティストから「来年はもっと大きな作品にも挑戦したい」「街の人たちのあたたかい励ましがうれしかった」などの声が聞かれました。関係者のご協力ありがとうございました。



MMMは街に夏の思い出を残しました



手前の黒っぽい輪は頭部4m、ヒレ1m、全長10mの巨大海亀の肋骨。アーティストの1人玉田多紀さんが制作しました。この「骨」を手がかりに、ここにあった海亀を想像してください。(肋骨は湊駅の応援団サービスステーションに展示されます。)

### 寄稿 海竜のつぶやき

この夏、1ヶ月滞在することになったのは目の前が海という阿字ヶ浦。

水分を含んだ海風がカラカラの肌に心地よい。何人もの通りすがりの海水浴客が私を見て驚いていくなか、生みの親玉田多紀氏は1週間かけて骨と化した身体に新たな形を作っている。どうやら今回も苦戦しているようだ、海風のおかげでダンボールはしっとりとし、砂を巻き込んでいく。

1週間後、これまでにないほど頑丈で、かつ表面のきれいな身体で私はよみがえった。阿字ヶ浦産の海竜を作り上げた彼女は、名残惜しそうに帰って行ったと同時に、今まで活気を帯びていた海がやけに静かになった。シーズンが終わると共に本来の姿に戻って行く街。それは私も同じだと感じた。ひとときの輝ける時間が必ず用意されている訳ではない、おそらく私の出番は最後だろう。

ひと夏という短い間だったが、街を感じ人に会ったこの時間を私は忘れない。阿字ヶ浦にはこれからもあの活気が永遠に続くことを願っている。

### 夢をかなえる、人のつながり

峰後栗田裕子さん

2006年、湊線が廃線の危機に陥り、おらが湊鐵道応援団が結成されて間もない頃、団長の佐藤彦三郎さん(通称彦さん)から、「応援団の広報委員会を手伝って」と声をかけて頂いた。それまで、様々な市民ボランティアの場で、人一倍熱心に取り組みながら、考えを押しついたり、偉ぶることもなく楽しげに活動されている彦さんのお人柄を尊敬していたので、「彦さんに言われちゃ断れない、何かお手伝いが出来るなら」という思いで、応援団の仲間に入れて頂いた。広報委員というより後方支援のつもりで。廃線か存続か巷では賛否両論飛び交う中で、広報委員会の場合はいつも前向きな話があふれ、文化祭の来場者をいかに楽しませるかに情熱を傾ける高校生のミーティングのような雰囲気、マイナスの話題さえも明るく報告された。

「湊線存続運動を、町おこし、地域の活性化に結び付けよう」と呼びかけ、次々とイベントやプロジェクトなどが提案、企画され、着々と実現し月1回発行の応援団報はいつもスペースが足りない程(応援団のホームページに掲載)。

この雰囲気は湊線の存続が決まってからも変わらないというより、さらに増幅され続けている。ふと、なぜこれらの企画が次々実現できるのだろうと考えてみると、「人」だなと思う。応援団のメンバーは一見普通の人達のようにだが、じつは一言では紹介しきれない程の多方面にわたる技術力と行動力と情熱とそして夢を持つ素敵な人達なのである。

勝田-阿字ヶ浦間の湊線が、海浜公園を経由して勝田駅までつながるといふみんなの夢が実現しそうに思える人のつながりの和・輪がそこにはある。



応援団広報委員会は毎月2回開かれています

### 連載!! no.11 湊のおさむくん



### 各駅の清掃ありがとうございます

毎月第一日曜日 8:30~8:50に実施中!

駅名	10月	11月	12月
中根	柳が丘・柳沢美田多・相金自治会		
那珂湊	釈迦町・幸町・湊泉町	田中町・小川・龍之口町・関戸町	神敷台・部田野小谷金・十三奉行
殿山	和田町・殿山町	七町目・牛久保町	和田町・殿山町
平磯	平磯・平磯清水町自治会		
磯崎	磯崎町自治会		
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会		

はまぎく花壇の除草作業  
那珂湊駅西側のはまぎく花壇の除草作業にご協力をお願いします。  
10/2(土) 朝8時30分~



好評だった8/22の直売会

10/3(日) 9:00~11:40

JAひたちなか女性部による朝獲り野菜の直売会が、10月から毎月第一日曜日の午前に開催されます。販売場所は那珂湊駅1番線ホームです。※12~2月はお休み。3月から再スタートになります。

### 募集 あなたも応援団スタッフに!!

那珂湊駅サービスステーション  
銀色に輝く! ミニ鉄道博物館  
ギラリー(ケハ):601  
◇場所 湊線那珂湊駅(ギラリー601は日曜日のみ開館)  
◇活動時間 9:00~15:00(毎週土日 午前・午後3時間程度)

### 応援団ホームページをリニューアル

応援団HPからツイッター(@keha601)も見られるようになりました。  
◇Twitter <http://twitter.jp/keha601>  
◇応援団報 パソコンから「湊鐵道応援団」→団報(ダウンロード)からご覧下さい。  
<http://minatrain.wordpress.com/>  
web 検索 <http://www.keha601.com/>  
おらが湊鐵道応援団 アドレスも変わりました

### 得 湊線乗車特典サービス企画

★湊線特典サービスは、湊線に乗車の際に、那珂湊駅または乗務員が発行する「乗車証明書」(当日限り有効)を店舗に提示することにより各店独自のサービスが受けられます。  
★那珂湊・平磯・阿字ヶ浦地区の宿泊施設「宿泊優待サービス」  
★おさかな市場・本町通り商店街ほか「お買い物サービス」...など。  
便利な参加店名簿を随時更新中!

